

特別支援教育部会

1. 研究課題

通常学級の個別の教育的配慮を要する児童生徒一人一人のニーズに応える教育的支援はどうあればよいか

2. 討議の柱（各分科会）

- (1) 通常学級における、学習に困難のある児童・生徒への支援
- (2) 通常学級における、社会性の発達の遅れやコミュニケーションに障がいがあり、主に集団での生活場面に困難のある児童・生徒への支援
- (3) 通常学級における特別支援を要する児童生徒の校内支援体制や、関係機関との連携

3. 研究協議会時の交流体制及び運営体制

(1) 方法

前半は所属している研究テーマに沿ったレポートを基に、小グループに分かれての研修会を行い、後半は以前より要望があった講演会を行う。

講演内容については、昨年度部会員向けに採ったアンケートをもとに、高等支援学校への入学事情やその先の進路など具体的にお話ししていただくよう講師に依頼しているところである。

(2) 分科会の構成

分科会	北部（125名）		南部（129名）	
	分科会運営者	人数	分科会運営者	人数
第1分科会	太田（野幌若葉小）	42	小泉（大麻東小）	45
第2分科会	西田（野幌若葉小）	26	古山（恵み野中）	36
第3分科会	岡本（文京台小）	57	藤枝（柏小）	48

※分科会が短時間のため、小グループに分かれてレポート交流を行います。受付でお渡しするプリントで、ご確認下さい。なお、人数が多い分科会は、会場を2つに分けて行い、最後に集まっていただくことも考えております。

(3) 運営体制

会場校：北～石狩市立緑苑台小学校
南～恵庭市立恵庭小学校

当日の役割分担

駐車場：各3名

受付：役員1名

教室準備：役員

(4) レポートの扱い、部数、形式

○実践交流レポートの作成について

各会員個人で、必ず1部作成してください。

部数は各所属分科会のグループ+15部提出

A4版・両面印刷・横2穴（開けてきて下さい）

○様式・討議の柱など詳細は、部会だより1号、2号でお知らせしていますが、部会ホームページにアップしておきますのでご覧ください。

4. その他

○拡大役員研修会

日時 8月9日（木）15時から

場所 北ブロック…緑苑台小学校

南ブロック…恵庭小学校

出席者 部長，副部長，事務局長，事務局次長，
研究員，事務局員

○今後の予定

7月上旬 部会だより2号発行

8月9日（木）特別支援教育部会拡大役員研修会

9月4日（火）課題部会研究協議会

（文責 工藤 正人）

※会員の所属グループについては、特別支援教育部会HPを参照してください。